

<p>政治・経済（Politics and Economics）</p>	<p>3 年・通年・2 単位・必修 5 学科共通 担当 竹原 信也</p>	
<p>〔準学士課程（本科 1-5 年）学習教育目標〕（1）</p>		
<p>〔講義の目的〕 私たちが現在生活している社会について、その仕組み、ルールを学ぶ。単なる暗記科目としてではなく、「生きた」学問として政治・経済を捉える。</p>		
<p>〔講義の概要〕 教科書・ノートを用いた講義を中心にすすめる。適宜、視聴覚教材の利用やグループ活動を行う。前半は主として政治について、後半は、経済と国際社会について学ぶ。</p>		
<p>〔履修上の留意点〕 授業をよく聞くこと。授業とは関係のない私語や携帯の利用は慎むこと。授業の前後に教科書を一読しておくことを奨励する。授業の内容に関連するトピックについて各自色々と考えてみてほしい（授業中の積極的な発言も歓迎）。政治・経済の面白さを実感するためにも、新聞やニュースなどに触れ、政治・経済について関心を寄せて欲しい。</p>		
<p>〔到達目標〕 〈前期中間試験〉 「民主政治」について基礎的事柄を理解している。 「日本国憲法」について基礎的事柄を理解している。 〈前期末試験〉 「基本的人権」について基礎的事柄を理解している。 「政治制度」について基礎的事柄を理解している。 〈後期中間試験〉 「資本主義経済」について基礎的事柄を理解している。 「国民所得と経済成長」「金融・財政」について基礎的事柄を理解している。 〈学年末試験〉 「国際社会」について基礎的事柄を理解している。</p>		
<p>〔評価方法〕 定期試験（70%）、課題・ノート提出・発表・グループワークでの取り組み・小テストを総合的に評価（30%）</p>		
<p>〔教科書〕 『高等学校 政治・経済』改訂版、第一学習社</p> <p>〔補助教材・参考書〕</p>		
<p>〔関連科目〕 社会科科目全般に関連する。</p>		

講義項目・内容

週数	講義項目	講義内容	自己 評価＊
第１週	ガイダンス	授業の目的・概要・評価方法を説明する	
第２週	民主政治の基本原則	民主政治の原理と発展について学ぶ	
第３週			
第４週			
第５週	日本国憲法	日本国憲法の成り立ちについて学ぶ 平和主義について学ぶ	
第６週			
第７週			
第８週	前期中間試験解説		
第９週	基本的人権	基本的人権について学ぶ	
第１０週			
第１１週			
第１２週	日本の政治機構	日本の政治制度について学ぶ	
第１３週			
第１４週	「働く」こと	「働く」ことについて考える。	
第１５週			
前期期末試験			
第１６週	経済社会の変容	経済と資本主義経済の発達について学ぶ 資本主義経済の変容と社会主義経済の考え方について学ぶ。	
第１７週			
第１８週	現代経済のしくみ①	経済主体と経済活動について学ぶ。	
第１９週	現代経済のしくみ②	市場経済の機能と限界について学ぶ。	
第２０週			
第２１週	現代経済のしくみ③	経済成長と景気変動について学ぶ。	
第２２週	現代経済のしくみ④	財政の仕組みについて学ぶ。	
第２３週	後期中間試験		
第２４週	現代経済のしくみ⑤	金融と物価の仕組みについて学ぶ	
第２５週	現代経済のしくみ⑥	国際経済の基礎知識を学ぶ。	
第２６週	貿易ゲーム	国際経済を疑似体験する。	
第２７週	国際社会のしくみ①	国際政治の概要について学ぶ	
第２８週	国際社会のしくみ②	第一次世界大戦と国際連盟について学ぶ。	
第２９週	国際社会のしくみ③	第二次世界大戦と大戦後の国際社会について学ぶ。	
第３０週	国際社会のしくみ④	東西冷戦と現代の国際紛争について学ぶ	
学年末試験			

* 4 : 完全に理解した, 3 : ほぼ理解した, 2 : やや理解できた, 1 : ほとんど理解できなかった, 0 : まったく理解できなかった.
 (達成) (達成) (達成) (達成) (達成)